

代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社
代表取締役 井上 明美



いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

暦の上では立秋ですがまだまだ暑さが厳しいですね。リオオリンピックの日本勢の活躍を胸躍らせて見ておりました。同時に日本人として誇らしく思い

ます。

メダルを取られた方だけでなく、予選落ちした選手の方々も日々凄まじい努力をされておられたことと思います。4年後に控える2020年の東京オリンピックに向け、気持ちを新に頑張りたいと願っております。

これからも残暑が続きます。皆様もどうかお身体をご自愛下さい。

サンライズの物語

戦争で失った命。仲間、そして家族・・・

今世では計り知れない経験を通し、

今尚後悔の念を抱えている人生の先輩の物語。

8月15日、終戦記念日を今年も迎えましたが、その度に思い出す方がいます。



その方は第二次世界大戦当時、敵戦上陸部隊に属し、最後はガダルカナル島（通称餓島）と呼ばれる太平洋戦争の激戦を極めた場所と言われるところにいらっしゃいました。

ガダルカナル島では、日本軍が食料をドラム缶で海から流すとアメリカ軍がことごとく打ち落とし海に沈められ、上陸当時200人ほど居た部下も、殆どが餓死してしまったそうです。

日本軍が助けに来るとの無線が入ったのは闇夜の晩。

怪我をした人を担ぎながら海辺まで移動した時も、怪我を負った仲間に「用を足すから降ろしてくれ」と言われ、ほんの一瞬離れると、その方はそのまま自決したと・・・想像を絶することですが、きっと仲間の負担になることを思っただったのでしょう。

やっとの思いで浜辺まで辿り着いても日本軍の船が海で止まる事なく動いていたと・・・動く救助の船まで泳げなかった人達は、救助された隊員に向かって、その場で手を振っていたそうです。浜辺に居た仲間を置き去りにせざるを得ない状況でしたが、助けられなかった自分に対して、今も後悔で胸が一杯になると話し、涙を流されておりました。

終戦記念日が来る度に当時を思いだされ辛い思いをしている方々は、大勢居られると思います。戦争とは絶対にしてはならない事だと、私達のように戦争を知らない世代も受け継いで後世の子供達に伝えていくべきだと強く感じます。

「幸福な食卓」

大きなものをなくしても、まだあった、大切なもの。

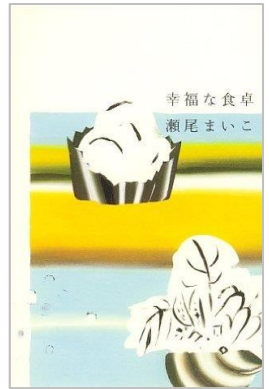
サンクチュアリ出版刊 著者：ノーマ コーネット マレック・作 / 佐川睦・訳

「父さんは今日で父さんを辞めようと思う」。

冒頭のこの一行で、この小説のすべてが表されているような、そんな一冊です。

人は、何らかの「役割」を持って生活をしています。そんな役割を持つ、ある「普通」ではない家族の物語。

苦しくて、でも最後にはなんとなく「頑張ろう」と思わせてくれる…そんな温かい一冊です。



NEWS 今月のニュース

元気な高齢者をもっと元気に。

ライブハウスを高齢者の

歌声広場へ！

福岡県の北九州市でまちづくりに関わっている“づくりの仕方”という地域団体が、高齢者のための「歌声広場」をライブハウスにつくろうと立ち上がり、クラウドファンディングで資金を募っている。刺激的な異空間と最高の音響の中で元気な高齢者を増やすという試みとのことだ。

福岡県北九州市は全国に20ある政令都市の中でも高齢化率は約26.8%、後期高齢者の割合も約13.3%と、どちらも全国一。そこで“づくりの仕方”代表者の田中宏児氏は、介護が必要な高齢者の方を支援することは今の北九州市にとってとても大切であり、それ

と同じくらい大切なのは「元気な高齢者をもっと元気に」することだと考え、この事業を立案するに至ったのだ。

歌声広場をライブハウスにつくることによって、最高の音響と非日常な空間の中で高齢者の方に歌う気持ちよさを味わってもらい、元気な高齢者をもっと元気にすることで「医療費や介護費なんか必要のないジジーバーバーになってもらいたい」という思いのもとスタートした【「高齢者の歌声広場をライブハウスで」 元気な高齢者をもっと元気に】プロジェクト。ファーストフード店、病院、デパート、商店街、スーパーのイートインスペース、パチンコ店、そしてゲームセンターなどに向かう高齢者たちは、街で行き場がそこしかないから行くだけで、楽しさや喜び、面白さが充実した場所と

はいえない。

しかし歌うことは、脳を活性化するとともに心肺機能を鍛えるため、健康増進や認知症予防にもつながるプラスの要素を持っている。また、仲間をつくる場として「歌声広場」は社会的なコミュニケーション手段にもなりうるのではないだろうか。クラウドファンディングサイト「CAMPFIRE」でのプロジェクトは8月1日にスタートし、締切は月末となっている。興味のある方は支援してみたいか？



<ValuePress 2016年8月4日(木)>



今月の名言

この世には、命を懸けて闘うに足る素晴らしいものがあるんです。

サム（映画「ロード・オブ・ザ・リング/二つの塔」）

作中、サムがフロドに語りかけるシーン。

しっかりと地に足をつけ、決して希望を手放さない彼の決意や、不屈の精神が沸々とみなぎっているセリフです。逆境にも負けないこの強い信念に、命の尊さや美しさを感じます。

広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。 <http://www.samaba.jp/back-number/>